

2024-2025年度国際ロータリーのテーマ



2024-2025年度国際ロータリー第2690地区のスローガン

未来への架け橋をつくらう

2024-2025年度岡山北ロータリークラブのスローガン

仲間との経験を増やそう

2024~2025年度 Rotary Club of Okayama North

Rotary 週報

国際ロータリー第2690地区第10グループ
岡山北ロータリークラブ

事務所 / 〒700-0901 岡山市北区本町6-36 第一セントラルビル6階西F号室
TEL.(086) 222-9590 FAX.(086) 224-4288
E-mail : okayamakita@ok6rc.jp
http://okayama-kita-rc.jp/

例会場 / 岡山市北区駅元町1-5 ホテルグランヴィア岡山
例会日 / 毎火曜日 12:30~13:30

理事・役員

2024.7~2025.6

会長(理事) 高橋 茂樹
副会長(理事) 橋田 歳行
幹事(理事) 牧野 本太郎
副幹事 堀安 川原 孝子
会計 安田 穰佳
S.A.A.(理事) 吉難 波
副S.A.A. 人那

会員増強・退会防止(理事) 中 山 賢太郎
広報(理事) 宮 井 宏
奉仕プロジェクト(理事) 永 山 雅幸
ロータリー財団(理事) 馬 場 幸三
親睦活動 正 保 宏景
プログラム 廣 野 達
直前会長 岸 本 浩
次期会長 高 島

モバイルサイトへのアクセスは
QRコードをご利用ください。
(岡山北RCホームページ)



きょうのプログラム

「カンボジア国際奉仕事業」

オンライン配信

次回2月4日のプログラム

「新天地育児院について」

社会福祉法人 新天地育児院

院長 山本 士生夫 様

2月のお祝い行事

会員誕生日：福嶋、平野、廣野、木道、
谷本、戸川、上野山、安原君
結婚記念日：米林君

前回1月21日の例会記録

出席の状況

会員数 53名 (出席免除者0名)
出席者数 33名
欠席者数 20名
出席率 62.26%



結婚祝贈呈 上野山会員

スケジュール

2月 平和構築と紛争予防月間

4日(火) 12:30~例会
13:40~第8回理事役員会
11日(火) 例会取消し (定款第7条第1節)
18日(火) 19:00~創立記念夜間例会
25日(火) 12:30~例会

3月 水と衛生月間

4日(火) 12:30~例会
13:40~第9回理事役員会
8(土)~9日(日) PETS (ANA ホテル米子)
11日(火) 例会取消し (定款第7条第1節)
18日(火) 12:30~例会：PETSの報告
25日(火) 19:00~岡山北RC・総社RC・岡山北西RC
合同花見夜間例会 (岡山城)

本日のメニュー：洋食

次回のメニュー：ミリオンダラーミール (和食)

会長挨拶



1月7日の新年互礼会&新入会員歓迎夜間例会では、親睦活動委員会の皆さん、そしてひな壇メンバーには大変お世話になりました。年始に相応しい良い会になったと思っています。また参加頂いた会員にも感謝申し上げます。ありがとうございました。

そして、一昨日は、IMでした。参加が少し少なかったように感じてはいますが、参加頂いた会員の皆さんには感謝致します。今回のIMは、岡山西RCさんと玉野RCさんの設営でしたが、講演者が2名という、今までにあまりない形での開催でした。そして、テーマが、「人生100年時代を生き抜くアーティスト思考とウェルビーイング」という新しい発想のIMでした。第一部講演では、岡山県出身のヴァイオリニスト福田 廉之介さん、弱冠25歳。そのままだまだ若手の彼が、20歳の時に、一般社団法人The MOSTという若手の育成の為に団体を立ち上げています。

第二部は、松永 エリック・匡史さん、私と同じ57歳、15歳からプロミュージシャンとして活動、その後、ビジネスの世界でイノベーションを起こしているお話をお聞きしました。

詳しい内容は、ここでは語りつくせませんが、この2名をロータリーのIMの講演に呼ぶセンスに感心しました。人生100年時代、充実した人生にするには、学び続ける事。本当にそう思いました。

そして、来週は、国際奉仕事業でカンボジアに行つてまいります。事業ももちろん楽しみなのですが、今回、カンボジアのロータリークラブが見つかり、初日の夜に会食が出来る事になりました。今後の事業の為、海外RCとの交流の為に良い会食にしたいと考えています。是非、来週も多くの会員に出席して頂き、カンボジアからの事業をお届けしたいと考えています。

幹事報告

1. 1月7日（火）開催の「新年互礼会」には多くの皆様にご出席いただきありがとうございます。ありがとうございました。
2. 1月19日（日）岡山コンベンションセンターにて開催されました「第10・第11グループIM」には多くの皆様にご出席いただきありがとうございます。ありがとうございました。
3. ロータリーの友1月号を配付しております。
4. 財団室NEWS 1月号、ハイライトよねやまVol.297、コーディネーターNEWS1月号、他クラブ週報・月報を回覧いたします。



幹事報告

S. A. A.

高橋君：IMおつかれ様でした。

本日の年男の抱負のスピーチ楽しみにしています。

牧本君：本日、年男の抱負をスピーチさせていただきます。よろしくお願いたします。

谷本君：カンボジア事業へのご寄付よろしくお願致します。

上野山君：結婚のお祝い、ありがとうございます。

皆木君：傘寿のお祝を頂きありがとうございます。

ご支援を頂いている皆様に感謝しています。

杉本君：年男の抱負をお話しさせていただきます。

上野山さんご結婚おめでとございます。

磯島(慈)君：先日のIMお疲れ様でした。濃密な講演でしたね。

本日早退致します。申し訳ありません。

吉田君：先日のゴルフで自分史上最悪のスコアとなりました。スコアは145です。もうゴルフやめた方が良いですか？



出席報告



スマイル報告



雑誌委員会 委員長 角南 真一 会員

「ロータリーの友1月号」の紹介

1月は「職業奉仕」月間ということで、「四つのテスト」は、倒産危機にあった会社の再建のため草案されたものとの記事を紹介されました。

「四つのテスト」原文

THE FOUR-WAY TEST

Of the things we think, say or do :

- 1) Is it the TRUTH?
- 2) Is it FAIR to all concerned?
- 3) Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?
- 4) Will it be BENEFICIAL to all concerned?

① 英語のタイトルにある Four-Way は「四つ辻」^{つじ}「四方に通じる」「四方向の」という意味です。Test は単数ですから、「四つのテスト」は「四方向(多方面)から見た一つのテスト」という意味合いです。4項目は独立した個々のチェック項目ではなく、全体として判断や言動の妥当性を問うています。

② 前文の邦訳は「言行はこれに照らしてから」ですが、原文にある think が訳されていません。事の是非を問う

ときに、「まず考える、そして判断する」ステップが欠かせないと思うのです。think という大事な単語が訳されなかったことは不思議ですね。

③ 項目2の FAIR は「公平」ではなく、取引上の「公正」さを示していると思われます。

④ 項目3の GOODWILL は、個人的な「好意」というより、(店や会社の)「信用」「評判」「のれん」を意味します。

⑤ 項目2と4の all concerned は、漠然とした「みんな」ではなく、「関係者すべて」。関係者とは、従業員、顧客、業者、取引先、株主等、その会社の事業に関わりのある人すべてを意味します。

いかがでしょうか。このように、英語原文と照らし合わせると、「四つのテスト」は元々一般的な人生訓を並べたものではなく、ハーバート J. テーラーが会社再建時に厳格に適用したビジネス上の倫理原則であったことがよく理解できます。このことから R I が、この「四つのテスト」を「行動規範」と共に職業奉仕の指針として大切にしてきたことが腑に落ちます。



国際奉仕委員会 委員長 谷本 章 会員

1月26日～30日、カンボジアにて国際奉仕事業を行ってきます。皆様からのカンパに感謝申し上げます。



今年の4月29日で満60歳になります。岡山北ロータリークラブに平成15年1月7日に入会させていただき22年が過ぎました。年男の抱負についてお話しするということですが特にこれといったものはありません。しいて言えば過度な責任を負わずに平穏な時間を過ごせていけたらいいなと思っています。

昨年の9月15日に高校の同級生夫婦から厄除けのお参りに行こうと誘いを受け由加山と金毘羅宮の両参りに行ってきましたので少しお話しさせていただきます。両参りという言葉は何となく知っていましたが少し調べてみると、江戸時代から

明治にかけて盛んだったらしく昔の人はお伊勢さん・こんびらさんにお参りするのは人々の夢であり願いであったようです。諸国から多くの旅人がこんびらさんに向かう途中、備前第一の霊地ゆがさん（由加神社本宮）ご本殿で災難・交通・旅行安全の参拝をし、こんびらさんへ。次第に両社をお参りする人々が多くなり、ご利益が沢山頂けるという両参りの風習が全国に知れわたったということです。

まず最初に金毘羅宮にお参りしました。9月中旬でまだまだ残暑きびしい日でしたが多くの観光客の方々が来ており外国人も沢山来られていたようです。車で行ったのですが参道近くのお土産物屋さんが帰りに2,000円以上その店で土産を買ったら置けるというのでそこに駐車しました。それから参道をぬけて785段の階段を登り本殿へお参り。続けて厄除けを申し込んで本殿で御祈祷。御祈祷場所の本殿は一般の参拝者のいるところよりも少し高くなっており景色もよく風通しがいいのもものすごく涼しかったのを覚えています。それから帰りの参道でうどんを食べて由加山へ。受付時間が16時までだったので15時位に到着して御祈祷を申し込んで御祈祷場所にて待機。エアコンがよく効いていて40分のお昼寝の後約40分の御祈祷終了。由加山の御祈祷を初めて受けましたが結構激しかったです。以上両参りについて簡単にご紹介させていただきました。

最後に今後は好きなことをする時間を出来るだけ多くとれるようにしていきたいと思っています。

「年男の抱負」

牧本太郎 会員



皆さま、本日はこのような機会をいただき、誠にありがとうございます。2025年という新しい年を迎え、年男としてご挨拶させていただく機会をいただきましたこと、大変光栄に思っております。

私の生まれた1977年は丁巳（ひのとみ）の年です。四柱推命によりますと、丁巳は「火の性質」と「初夏の火の性質」があり、丁巳を持つ人は、夏の初めに見えるまだ日も落ち切らない青とピンクの空に見える月のように、**シャイで優しく**

素朴ながらも目を引く明るい雰囲気をしています。

とあります。

そして、丁巳を持つ人は、自己主張が控えめでシャイな性格をしています。繊細であるため、気遣い上手ではありますが、人といると疲れやすいという特徴があります。また、独自の道を行くこだわりの強い人でもあります。

とあります。皆様私を見ていかが感じましたでしょうか。確かに！と思われた方は、お調べいたしますので、私までおしらせください。

さて、そんな私も48歳という年齢になります。人生の折り返し地点となりました。

思い返して見ると、JCに入会したのが2016年、ちょうど10年前になります。当時、経済団体には所属しておらず、仕事のみを一生懸命やっておりました。小さな会社ですから、全てに目が届きます。会社に口も手も出しすぎて、後進が育たない問題を感じておりました。「性格的にどうしても介入してしまうから、忙しくして関われないようにしよう」と考え、JCに入らせていただきました。そんな考えだったものですから、積極的に活動しました。やればやっただけ仕事が増えるのが世の常です。あれよあれよと頼まれごと、誘いごとがふえ、10年たった現在でも、幹事の大役の他に、うらじゃでアドバイザー、YEGで副委員長をさせていただき、日々会社以外のことばかり考えております。

ただ、少しずつ役が減っていくであろうこれからの12年を考えたとき、これまで学んできたこと、築いてきた人間関係、そしてこれから挑戦したいことが一層明確になる年齢だと感じています。

具体的な目標ですが、1つ目は現在の社業についてです。

昨年も京都から福岡まで様々な場所で現場仕事をさせていただきましたが、遠方の仕事となるとどうしてもコストと時間の問題がでます。そういった部分を解決でき、お客様によりよいサービスを提供していきたいと考えており、何度か県外事務所の開設を模索してきましたが、そろそろ具体的に進めていこうと考えております。また、嫁を社長として、六三八デザイン室というデザイン会社もやらせていただいております。元々はファブリックデザインをしておりましたが、名刺やコーポレートマークのデザインから、リノベーションの提案もいたしております。こちらの方は金銭的なことをあまり考えずにやっておりますので、先日のIMで講師のエリック先生がお話しされた「アーティスト思考」のように、他にない価値を創造していきたいなと考えております。

2つ目は体のこと、この年齢になると健康面も気になりだすもので、疲れが取れにくく感じたり、遅くまでお酒を飲んだ次の日は仕事の精細を欠いたり、体力面に違和感を覚えたり、お正月休み明けにコケて胸を打ったのですが、まだ痛かったり、土曜日にビール瓶の口でまぶたを切りましたが、こういった傷も治りが遅くなったなと感じています。

特に健康についてなにかする方ではなかったのですが、体力づくりや怪我をしないように注意した行動が必要だなと感じております。

3つ目は家族のこと、息子が三人おりますが、一番上は県外で大学生をしております。二番目は高校二年生、三番目は小学校一年生、ちょっと離れています。

子どもたちが巣立っていくなかで、いかにして家族のつながりを深めるか、現在はコミュニケーションツールも豊富にありますので、距離があっても交流は容易いです。そういったツールを積極的に使い、子どもたちや嫁に安心感と愉しみを与えられるよう、頑張っていきたいと思っております。

ペラペラと自分のことばかり喋ってまいりましたが、なんと言っても私は岡山北ロータリークラブの幹事をさせていただいております。今年度が終わるまであと半年、先程の3つの目標は横へ置いといて幹事業に邁進してまいりますので、高橋丸の無事の寄港まで、皆様のご協力とより一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。私の年男の抱負とさせていただきます。

みなさま、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

Intercity Meeting

日時

2025年1月19日(日)
12:30~18:00

会場

本会議/岡山コンベンションセンター
懇親会: ANAクラウンプラザホテル岡山

集合写真



福田廉之介氏
ヴァイオリンの生演奏

1月19日、岡山コンベンションセンターにて、第10グループ・第11グループ合同のインターシティ・ミーティングが開催され、講演会に13名、懇親会に15名が参加しました。

講演会は「人生100年時代を生き抜くアーティスト思考とウェルビーイング」をテーマに、2部構成で行われました。

第1部では、赤磐市ネオポリス出身の若き天才ヴァイオリニスト福田廉之介氏（25歳）が、演奏家になった経緯や、20歳から取り組んでいる若手クラシック演奏家の支援活動について語り、生演奏も2曲披露されました。使用しているヴァイオリンは約7,000万円ほどとのことでしたが、「彼のレベルで貸与される楽器としては非常に安価な部類だが、配偶者と同じように相性が重要」という話が印象的でした。

第2部では、松永エリック・匡史氏による講演が行われ、現代のビジネスにおいて、いかにアート思考、クリエイティビティ、そして自身が本当にやりたいことに取り組むことが重要であるかが、湧き水のごとく流暢に語られました。トップコンサルタントの話術の巧みさに感服しました。

総じて、見ごたえ、聞きごたえのある有意義な内容でした。

(宮井 記)



松永エリック・匡史氏

懇親会集合写真 少し遅れて登場した谷本会員（右上）

